

平成19年1月 経営協議会議事録 ()

- . 日 時 平成19年1月23日(火) 15時00分～17時05分
- . 場 所 千葉大学けやき会館 レセプションホール
- . 出席者 古在学長, 早川, 伊集院, 清水, 有馬, 井上, 後藤, 赤田, 岡田, 石橋, 福島, 天野, 宮崎, 藤澤(武), 山口, 石垣, 藤澤(英) 各委員
(欠席: 茂木, 安田, 堀各委員)
- . 前回経営協議会議事録について
原案のとおり承認された。
- . 審議事項
 1. 中期目標・中期計画の変更について
学長から, 中期目標・中期計画の変更について審議願いたい旨提案があった後, 天野理事から, 自然科学系4研究科の設置及び看護学研究科の入学定員変更に伴う同計画の変更について, 資料に基づき説明があった。
主な意見は次のとおり
融合科学の内容はどのようなものか。
本学の自然科学系の研究科は, 理学・工学・園芸学部並びに文学部の一部の連携により構成されている。
自然科学系の研究科は基礎と応用の両者の協力が必要になる。
経済状況が比較的良好となり, 修士課程から博士課程への進学者が減少している。優秀な学生の確保に努めなければならない。
- . 報告事項
 1. 平成19年度政府予算(案)について
福島理事から, 平成19年度概算要求の内示状況及び国立大学法人に係る平成19年度の政府予算(案)について, 資料に基づき報告があった。
主な意見は次のとおり
本予算(案)を受けて, 千葉大学の予算(案)は, いつ頃の経営協議会に諮られるのか。
例年6月に提案されていたが, 今回は, 3月の経営協議会において本学予算配分(案)をご検討いただきたいと考えている。
科学研究費補助金(基盤研究C)に間接経費が措置されたが, 千葉大学での使途の方針はどのようになっているか。また, 同補助金の適正使用への対応状況はいかがか。
間接経費は約9,000万円の増額になるが, 本増額分を含めて本学予算配分

(案)を検討したい。

科学研究費補助金の適正な使用に関しては、本学でも一定数を抽出して独自に調査を実施している。

社会人を対象とするリカレント教育の千葉大学の状況はいかがか。

本学では工学部にBコース(昼夜開講制)があり、夜間の講義は社会人が受けやすい内容になっている。また、昼間の講義は比較的若者向きに準備されている。一般の講義では若い方々が頑張っているが、一般学生と社会人とが共同で履修している演習等では、社会人が一般学生をリードする場面も数多い。

看護学部には現役の看護師長を受入れるコースがあり、土曜日を中心とする開講なので、修了まで3年のコースである。

社会人教育にはかなりのニーズがある。千葉大学には近隣に工業地帯もあり、地域的にもニーズが見込まれるので、将来的には、社会人教育の組織を検討する必要があるだろう。

京葉コンビナートとの連携、社会人教育も検討したい。

2. 平成17年度決算剰余金について

福島理事から、平成17年度決算剰余金の繰り越し及び承認状況について、また、文部科学大臣による承認後、目的積立金とすることについて、資料に基づき報告があった。

3. 学長裁量経費による配分及び教員の重点配置について

福島理事から、平成18年度の学長裁量経費等(プロジェクト経費及び全学共通経費を含む)の配分実績及び学長裁量経費による教員重点配置計画について、資料に基づき報告があった。

主な意見は次のとおり

千葉大学ではベストティーチャー賞を設けているが、教員評価は大変難しい問題であり、どのように評価、決定しているのか。

各部局からの推薦に基づいている。部局では、学生による授業評価、教員の授業方針等を添えて推薦してきている。教員評価は、文系、理系、医薬看系の違いもあり、絶対的指針に基づいて実施するのは、なかなか困難な状況である。

4. 平成19年度千葉大学大学院研究科エクセレント・インターナショナルスチューデント・スカラーシップ募集要項(案)について

宮崎理事から、平成19年度より実施される私費外国人留学生に対する奨学支援について、資料に基づき報告があった。

主な意見は次のとおり

大変素晴らしいことである。将来に向かって拡大してほしい。

本制度に対しては、本学での募金活動に基づく資金を充てることも考えて

いる。

5. 国際化の指針について

天野理事から、本学における国際化に関する指針について、資料に基づき報告があった。

主な意見は次のとおり

本指針に基づく、具体的なアクションプランも検討を急いでいる。

環境リモセンはテクノロジーが中心となっているので、グローバルウォーミングリサーチセンターの設置を検討してはいかがか。

環境リモセンは見直しの時期に来ている。現在センター内では改革案を検討しており、外部評価のための総括を行っている。

6. 附属病院の現状と課題について

藤澤理事から、附属病院の再開発計画概要及び中期収入目標について、資料に基づき報告があった。

主な意見は次のとおり

黒字の国立大学附属病院は少ない。この努力を継続してほしい。

附属病院を取り巻く環境は非常に厳しいが、努力していきたい。

7. 平成18年度における8重点分野での改善・推進・強化状況について

学長から、今年度の本学における重点分野での改善・推進・強化状況について、資料に基づき報告があった。

8. その他

(1) 千葉大学地域観光創造センターの設置について

宮崎理事から、本学地域観光創造センターの設置について、資料に基づき報告があった。

(2) その他

学長から、「平成19年(2007年)年頭の挨拶」、「環境健康都市の創造に向けて」及び「心と生命を基盤とした環境と健康デザイン」について、資料に基づき報告があった。

以 上